

別表第1 評価領域及び行動プロセスに関する着眼点

※「着眼点」は、職務を遂行する上で通常必要とされる水準を例示したものである。

小学校助教諭（講師含む）

評価領域		着眼点
I 教科指導等	指導計画の作成・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領を踏まえ、児童の実態に即した指導計画を作成している。 ・授業の充実を図るため、他の教諭と連携しながら常に教材研究に努めている。 ・適切な指導計画に基づき、年間を通じて計画的に授業を進めている。 ・日頃から指導計画を見直し、その工夫・改善に努めている。
	学習指導と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に対する発問、指示、板書などが適切で、授業が円滑に展開されている。 ・児童一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導・支援を行っている。 ・指導方法や指導形態を工夫して、児童の主体的な学習活動を展開している。 ・指導と評価の一体化を図り、他の教諭と連携しながら指導の改善や児童の学習意欲の向上に努めている。 ・学校の教育活動全体を通じて、道徳教育の充実に努めている。
II 学年・学級経営・生徒指導等	学年・学級経営、生徒指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的態度を育成している。 ・学級・学年集団を適切に指導するとともに、児童一人一人のよさを生かしている。 ・教育相談的な対応に心がけ、他の教諭と連携しながら児童理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・教員間で学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努めている。 ・家庭や地域との情報交換を行い、連携して指導している。
III その他の校務等	校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。